

Weekly M&A Review

2009年6月26日 (No. 012)

株式会社エスネットワークス リサーチ室第1部

M&Aに関する最新情報をお送りします。

【今週号のトピック】

今週のディールレビュー

- 日本ラッドに対するTOB（会社側の意見表明）
- ラオックスのエクイティファイナンス（第三者割当増資・新株予約権の発行）および業務提携
- 日本アジア投資のADR手続成立
- コスモスイニシアのADR手続スケジュール変更

I. 今週のディールレビュー

1. TOB

（1）日本ラッドに対するTOB（会社側の意見表明）（6月23日）

日本ラッドに対する同社代表取締役大塚隆一氏によるTOBに関し、会社側が「現時点においては留保」という意見表明を行った。

【TOB概要】

公開買付者	大塚隆一氏（TOB開始時：日本ラッド代表取締役会長兼社長。現在は非常勤取締役）
対象	株式会社日本ラッド（JQ #4736）普通株式
期間	6月9日～8月4日（40営業日）
価格（プレミアム）	193円/株 （発表日前日終値比：+23.72%、直近1ヵ月単純平均比：+23.88%、直近3ヵ月単純平均比：+25.84%）
数量	上限：1,100,000株（24.42%） 下限：—
その他	本TOBは上場廃止を企図しておらず、TOB後も上場を維持する予定。

出所：6月9日付「公開買付届出書」（届出者：大塚隆一氏）

- ✓ 大塚隆一氏はTOB開始時点において、対象会社の955,230株（21.20%）を保有（特別関係者を含む）。本TOBが成立すると、最大2,055,230株（45.62%）を保有することになる。
- ✓ 買付資金については、株式会社モンテブランコ・キャピタルより「融資見込証明書」（融資限度額2.5億円）が提出されている。モンテブランコ・キャピタルは、マザーズ上場のジャパン・デジタル・コンテンツ信託株式会社に出資をしている投資会社（<http://www.tse.or.jp/listing/kanri/data/jdc-090610c.pdf>）。
- ✓ 日本ラッドの株価は、6月25日終値で182円（TOB発表前日比+25円）。TOB価格とはまだ11円の開きあり。

2. ファイナンス

(1) ラオックスの第三者割当増資・新株予約権の発行および業務提携（6月25日）

ラオックス（東2#8202）は、中国系企業（蘇寧電器股份有限公司他）への第三者割当増資・新株予約権の発行および業務提携を発表。

【第三者割当増資概要】

割当先	・GRANDA MAGIC LIMITED（蘇寧電器股份有限公司の100%孫会社でケイマン籍の投資会社） ・日本観光免税株式会社
払込予定日	2009年8月3日
発行価格および数	12円/株、125,000,000株 (GRANDA MAGIC LIMITED：66,666,667株、日本観光免税株式会社：58,333,333株) ※「有利発行」であり、7月24日開催予定の臨時株主総会における承認が発行の前提
調達総額	15億円
資金使途	秋葉原事業強化のための仕入・広告宣伝等の運転資金：11億円 優先株償還資金：4億円

【新株予約権概要】

割当先	・GRANDA MAGIC LIMITED ・日本観光免税株式会社
払込予定日	2009年8月3日
発行価格および数	無償 20,000,000個（GRANDA MAGIC LIMITED：10,660,000個、日本観光免税株式会社：9,340,000個） ※「有利発行にあたる可能性」があるため、7月24日開催予定の臨時株主総会における承認が発行の前提 ※新株予約権1個あたり普通株式1株に転換
行使価格	20円/株
行使期間	2010年1月15日から2013年1月14日まで（3年間）
調達総額	4億円（すべて行使された場合）
資金使途	秋葉原事業強化のための運転資金

出所：6月25日付ラオックス「蘇寧電器股份有限公司及び日本観光免税株式会社との第三者割当による新株式の発行及び新株予約権発行を含む業務資本提携に関するお知らせ」

ショート・コメント

- ✓ 中国系企業によるラオックスへの出資。今回の業務資本提携により、両社共同による仕入体制の確立・PB商品の開発を行うとのこと。
- ✓ 本ファイナンスに応じる2社は、別途つなぎ資金として約3億円を準備。
- ✓ 新株予約権がすべて行使された場合、本ファイナンスに応じる2社のラオックスに対する持株比率は55%まで上昇する予定。
- ✓ ラオックスの株価は、6月25日終値で124円。本ファイナンス報道がされた前日（6月17日）比で+88円と急騰。

このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、その正確性及び完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社エスネットワークスに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送を禁じます。

3. 再生その他

(1) 日本アジア投資のADR手続成立（6月24日）

日本アジア投資は、全取引金融機関から事業再生計画について同意を取得し、ADR手続が成立したと発表した。

【ADR概要】

申請会社	日本アジア投資株式会社（東1 #8518）
対象となる債務の総額	約398億円 （対象会社の2009年3月期末の借入金・社債残高（CB、リース除く）は約408億円であり、有利子負債の大半が対象になるものとみられる）
内容	返済スケジュールの変更（リスケジュール）。 債務免除・DES・金利減免は再生計画には含まれない。

出所：6月24日付日本アジア投資「事業再生ADR手続成立のお知らせ」

ショート・コメント

- ✓ 日本アジア投資は5月13日にADR手続利用のリリースを行っていたが、約1か月での早期成立となった。
（5月13日のリリース：<http://www.jaic-vc.co.jp/jp/release/pdf/2009/090513.pdf>）
- ✓ 経営者責任としては、役員数の大幅減員・新任代表取締役社長の3ヶ月間無報酬とされている。なお、株主責任は問われない見込み。
- ✓ 日本アジア投資の株価は、6月25日終値で84円（発表前日比+11円）。市場はADR成立を好感か。

(2) コスモスイニシアのADR手続スケジュール変更（6月25日）

コスモスイニシアは、4月28日に発表したADR手続きについて、スケジュールの変更を発表した。

【スケジュール】※赤字下線部が今回の変更・追加点。

6月25日：第2回債権者会議（経過報告・第2回債権者会議の続会に関する決議）

7月24日：第2回債権者会議の続会（事業再生計画案の協議）

第3回債権者会議（第3回債権者会議の続会に関する決議・一時停止期間の延長に関する承認）

8月下旬～9月下旬予定：第3回債権者会議の続会（事業再生計画案の決議）

出所：6月25日付コスモスイニシア「事業再生ADR手続のスケジュール変更に関するお知らせ」

ショート・コメント

- ✓ 当初の予定の7月24日の再生計画案可決が、1～2カ月延伸。債権者との交渉・調整が長引いている様子。
- ✓ コスモスイニシアの株価は、6月25日終値で58円（発表前日終値比+1円）。

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社エスネットワークス リサーチ室第1部 公認会計士 高桑 昌也

Tel 03-5573-4661 / m-takakuwa@esnet.co.jp

このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。
記載された意見や予測等は作成時点のものであり、その正確性及び完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社エスネットワークスに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送を禁じます。